

西表熱帯林育種技術園への研修生受け入れ

1. はじめに

西表熱帯林育種技術園は、沖縄本島から約460km南西に離れた西表島の東部にあります。西表島は北緯約23°に位置し、亜熱帯性の植物が野山を覆い、河川下流に広大なマングローブ林が広がっています。

海外協力のための熱帯・亜熱帯性樹種を育て技術開発を行うため、当園は平成8年に開設されました。園内には、本土で成育が難しいアカシア属等の樹種が植栽され、毎年、国内外から研修生を受入れています。ここでは、平成25年度の研修について紹介します。

2. 研修内容

平成25年度に受入れた研修は、表-1のとおりで、JICA（国際協力機構）に関連する研修3件のほか、農林水産省の海外派遣技術者の研修、インターンシップ各1件です。

JICA関連の研修は、テーマを決めて海外から参加者を募集する集団研修と、育種センターで行っているケニアプロジェクトの研修です。これらの研修では、これまで実施してきたクローン増殖や人工交配技術を紹介した後、網室内での育苗、植栽木の成育状況等を説明しました(写真-1)。また、2日間にわたる集団研修では、アカシア属のさし木とつぎ木、ハイビスカスのとり木の実習を行いました。昨年もとり木を実施しており、ラベルに自国名を見つけ、旺盛に発達した根に歓声を上げている研修生もいました。

農林水産省の海外派遣前研修では、直接亜熱帯の樹種の育苗や成育状況を見ることが出来ることから、当園を研修先のひとつに選定されたと考えられます。この研修では、林木育種センターの海外協力の実績、現状を紹介するとともに、見本林等を案内しました。

インターンシップでは、日本大学の森林資源科学科の学生2人を受け入れ、1週間の間に当園の役割、

表-1 平成25年度に受入れた研修

期間	区分	研修名	研修生	随行者*
H25. 6. 23	H25年度JICA 集団研修	「国家森林モニタリングシステム整備のための人材育成」コース	12	3
H25. 7. 8	農林水産省研修	海外派遣技術者国内研修	9	1
H25. 7. 9 ~7. 11	JICAケニア研 修	ケニア林木育種プロジェ クト研修「遺伝分析」コース	2	1
H25. 9. 2 ~9. 6	インターン シップ	熱帯・亜熱帯樹種の育種に 関連する調査・管理の実習	2	0
H25. 11. 7 ~11. 8	H25年度JICA 集団研修	「地域住民の参加による多 様な森林保全」コース	12	2

*随行者は、研修管理員、通訳又は講師。



写真-1 網室でのテリハボク苗木の説明



写真-2 苗木移動中のインターンシップ研修生

業務を説明した後、試験地の調査や植付け、場内管理等の作業を職員が一緒に行いました(写真-2)。また、この機会に西表の自然を感じてもらうため天然林を踏査しました。

3. おわりに

短期間の研修でしたが、研修内容が研修生の今後の業務に役立つとともに、当園への理解が深まることを願っています。なお、この他に琉球大学をはじめとする約200名以上の方が当園を訪れています。

(西表熱帯林育種技術園 板鼻直榮)